

【日産MCPソーダ塩】2009年8月19日作成

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

この色の部分が2009年8月19日付けで適用内容、注意事項が変更になりました。

【適用雑草と使用方法】

※印は本剤及び MCPA を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示します。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		総使用回数※
			薬量	希釈水量	
日本芝	一年生及び多年生広葉雑草	芝の生育期	2,000g/10a (2g/m ²)	200~300 ^{リットル} /10a (200~300ml/m ²)	3回以内

●適用場所：－ ●使用方法：雑草茎葉散布

●適用土壌：全土壌 ●適用地帯：全域

【その他の使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	適用地帯
				薬量	希釈水量		
樹木等	公園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生及び多年生広葉雑草 スギナ	雑草生育期 (草丈30cm以下)	400~600g/10a	70~100 ^{リットル} /10a	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	全域
麦類	－	一年生及び多年生広葉雑草	(春播麦類) 5葉期 但し収穫45日前まで	200~300g/10a	25~100 ^{リットル} /10a	雑草茎葉散布	全域
			(秋播麦類) 幼穂形成期 但し収穫45日前まで				70~100 ^{リットル} /10a

●総使用回数※：水稲、水稲(刈取跡)、とうもろこし、麦類は1回、樹木等、水田作物(水田畦畔)は3回以内

●適用土壌：全土壌

【効果・薬害等の注意】

- MCPAを含む農薬であるので他のMCPAを含む農薬の使用回数と合わせ作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 芝に使用する場合は、次の事項にも注意してください。
 - 萌芽期の芝は抵抗力が余り強くないので、芝が完全に生え揃った後に散布してください。枯殺力は高温になるほど強くなりますので、7月頃では散布前に芝を刈り、雑草の生育を抑えた後散布するとさらに有効です。
 - 芝の中や付近にある草花や花木などに薬液がかからないようその付近での散布はさけてください。
 - 散布後、芝が若干黄変することがありますが、1~2週間後には回復します。
- 立毛(生育)中の広葉作物(桑、茶、果樹などを含む)に本剤が直接又は飛散してかからないようにしてください。

- ③散布直後の降雨は効果を減じますので、天候を見きわめてから散布してください。
- ④公園、堤とう等で使用する場合は、セイタカアワダチソウ、イタドリ等大型多年生広葉雑草を対象としない場面で使用してください。
- ⑤散布に用いた器具類は使用後できるだけ早く水で十分洗い、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意してください。
- ⑥本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。
- ⑦麦類の小水量散布（25～50 リットル/10a）には専用ノズルを使用してください。

【安全使用上の注意】 メガネ着用 マスク着用

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受けてください。
- ③散布液調製時には保護メガネを着用し、薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。
- ④皮ふに付着しないよう注意してください。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください（弱い刺激性）。
- ⑤公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ⑥散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。また、薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- ⑦水源池、養殖池等に本剤が飛散流入しないよう十分に注意してください。
- ⑧散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないよう3回以上洗浄してから適切に処理してください。
- ⑨使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

【1容量で散布できる面積】

作物名	100g	300g
日本芝	50㎡（約15坪）	150㎡（約45坪）

枯れ始めるまでの日数	1～2週間
効果の持続性	なし